

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼらりすあんど		
○保護者評価実施期間	2025年10月14日		～ 2025年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月14日		～ 2025年11月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援・放課後等デイサービスと保育所等訪問支援の併用をしているご利用者様に一貫した支援や情報共有を行っている。	<p>児童発達支援・放課後等デイサービスと丁寧に連携を図りながら支援を進めている。療育の場で見られる姿と、訪問先(園や学校)での様子の両方を踏まえ、子どもの行動の背景や意味についてわかりやすく説明し、どのような視点で支援していくことが望ましいかを具体的に共有するよう心がけている。単に行動への対応方法を伝えるのではなく、「なぜその行動が起きているのか」「どのような力を育てようとしているのか」といった支援の意図を共有することで、関わり方に一貫性がもてるように意識している。</p> <p>また、訪問先の先生方には、療育の目的や現在取り組んでいる内容、子どもの強みや伸びてきている点についてもお伝えし、訪問先での課題や目標と自然につながるよう調整している。そのうえで、保護者・訪問先・事業所の三者が同じ方向性で子どもを支えられるよう、情報共有の機会を大切にしている。</p> <p>さらに、訪問時に寄せられる先生方からの質問やご相談には、その場でできる限り具体的にお答えし、実践に活かしていただけるよう努めている。内容によっては、児童発達支援や放課後等デイサービスにおける支援目標にも反映させ、継続的かつ統一した支援につながるよう工夫している。このように、関係機関が連携しながら、子どもの育ちを多面的に支えていくことを大切にしている。</p>	<p>支援の継続性と共有の質を高めていくことが必要である。例えば、訪問後に簡単な振り返りの機会を設け、支援の効果や今後の課題を整理することで、より実効性のある支援につなげることができる。また、視覚支援や具体的な声かけ例など、現場で活用しやすい支援方法を共有することで、日常の関わりに活かしやすくなると考えられる。</p> <p>さらに、課題だけでなく子どもの強みや成長の姿を積極的に共有し、必要に応じて事例検討やミニ研修を行うことで、園や学校全体の支援力の向上にもつながると考えられる。</p>
2	コンサルテーション	専門職間で問題を解決するためにそれぞれの立場からの意見を互いに尊重しながら行うようにしている。	引き続き、訪問先の理念や方針を踏まえた上で、訪問先の状況に合わせて提案を行うように努める。
3	様々な専門職からの視点	多職種(言語聴覚士、理学療法士、臨床心理士、保育士、教員等)で話し合い、色々な視点から支援方法を検討している。また、それぞれの訪問先の状況や環境に応じて支援方法を検討するようにしている。	ケースによって複数の職種で訪問することも検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援を終えてから、保護者様に伝えるまでに時間が掛かっていることがある。	保護者に訪問終了後、タイミングよく時間を設定することが難しい時がある。	記録から書面にするまでの時間を短縮し、保護者様の都合に合わせてられるようにして、伝えることができるように設定していきたい。すぐに伝えることが難しい場合は、電話等の手段も用いて話すことができるように検討していく。
2	人材の育成	訪問支援を行うにあたっては、発達に関する専門的な知識だけでなく、訪問先である保育園・保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・特別支援学校など、それぞれの現状や運営体制への理解が不可欠である。さらに、地域の社会資源や福祉サービスに関する知識も求められる。これらを総合的に備え、継続して支援を担うことのできる人材は限られているのが現状である。	時間をかけて事業所内で訪問支援について学ぶ機会を設け、訪問支援に関心や適性のある潜在的な人材の発掘と育成に努める。また、外部研修や外部交流なども含め、訪問員のスキルアップに努める。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぼらりすあんど

公表日 2026年2月18日

利用児童数 60

回収数 43

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	41			2	個別の部屋でお話が聞けました。	
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	43				毎回適切にご説明してもらえます。	
	3	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	41	1		1	ご相談の連絡があり、決定してます。	
	4	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	42			1		
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43					
	6	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43					
	7	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	40	1		2		
	8	保育所等訪問支援計画には、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43					
	9	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43					
	10	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	38	1		4		
保護者 への 説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43					
	12	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	43					
	13	保護者が子どもの行動や特性を理解したり、子どもへの関わり方・対応について学ぶ機会が設けられていると思いますか。	43					
	14	必要な時に子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	43					
	15	定期的に保護者に対して、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43				定期的に面談して頂けています。	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43					
	17	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対して、そのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43					
保護者 への 説明等	18	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43					
	19	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	40	2		1		
	20	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	40			3		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	42	1			説明時に共有してもらっております。	
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	1		8		
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	24	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	36			7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40			3		
満足 度	26	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	42	1			来ていただくたび、とても楽しそうにしています。	
	27	事業所の支援に満足していますか。	43				適切な説明があり満足しています。	

ご自由にお書きください（ご意見・ご要望）

- ・学校での様子をいつも細かく書いて下さるので分かりやすく大変ありがたいです。
- ・いつもきちんと対応していただいて助かってます。
- ・支援の方法を具体的に伝えて下さり、子供が楽しく保育園に通えます。
- ・園の先生と話をして連携をとれるようになったので子供も園で楽しく過ごせてます。
- ・園での様子が良く分かり園と連携もとっていただけるので助かっております。
- ・定期的に訪問して下さりありがとうございます。

事業所名

公表日 2026年2月18日

ぼらりすあんど

配布数 16

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 園児への言葉がけやかかわりについて具体的にお話をさせていただくのでわかりやすく取り組んでいます。 毎回子供の事や担任の悩みに応えてもらっています。 保育士への助言は具体性がありわかりやすく現場で実践しやすい内容であり助かっています。 	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> いつも丁寧に教えていただいているので満足しています。 専門の知識を聞けるので本児との保育の中にも活かす事ができ大変有難いです。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 担任保育士との面談や観察時に質問に対してアドバイスや回答を適切にいただいています。 	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 職員会議等で話し合い解決できなかった困り事に対して直接お話を聞いていただき指導いただけるので解消されています。 安心して相談する関係作りができ頼りにしています。 保護者とその子に対する課題を共有できたことで園と家庭で同じ視点を持って関わる事ができ、困り事の軽減につながりました 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 本児の母親を通して事業所での様子を聞く事ができ、保護者とのつながりも良好な事が伺えます。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの様子を細かく観察していただく中でアドバイスをいただいたり、職員が知りたいことを直接助言いただきありがとうございます。また子供たちだけでなく保護者に対しての声のかけ方や接し方等も教えていただく事でいつも助けていただいています。今後とも宜しくお願い致します。 当園の保育士が見過ごしがちな事柄を伝えていたえだく事は子供達の成長を気づかされる事が多いです。また、保育に行き詰まる事が多くあり第三者的なアドバイスに子供達の行動を理解し保育の立て直しができ感謝しています。 定期的に来ていただき丁寧に観察・助言をいただいています。保育園の他児の事でも質問をさせていただくと適切にアドバイスをいただけて大変有難く思っております。 保育中の先生達の困り事を相談できるのは有難いです。 本児や本児の保護者からも気軽にぼらりすあんどの名前が出てくる位良い関係が築いている事が分かり私達も本児の様子を聞きながら園での姿も伝え合う事ができそれぞれが本児と接しているのではなく、一緒に本児と関わっていている事を実感しています。これからも宜しくお願いします。 一人ひとりに合った対応や園側の困りごとや質問に対しても丁寧にアドバイスをいただくことで職員の保育の悩みや不安を取り除き、園児と向き合える気持ちを持つ事が出来ています。大変有難く思っております。 園児の対応に困った時、色々アドバイスをもらって助かっています。 いつもアドバイスを下さりありがとうございます。 					<ul style="list-style-type: none"> 引き続き訪問先の先生方にとっても有益な保育所等訪問支援になるように努める。 各専門職が園や学校での活動を丁寧に観察し、園や学校の先生方が「今、困っていること」に対して即効性のある具体的なアドバイスを継続できるように努める。特に、見過ごしがちな小さな成長の兆しや、行動の背景にある意図を第三者的な視点で分析し共有することで、園や学校での取り組み（環境設定や声掛け）を強かにバックアップすることに努める。 対象児への直接的な支援だけでなく、先生方の悩みや不安を解消し、前向きに保育や教育に向き合えるような対話ができるように努める。また、保護者への接し方や、家庭・園（学校）・事業所の三者が共通認識を持って関われるような橋渡し役を担い、チーム全体で子どもを支える「一体感」のある支援体制を維持・強化することに努める。 対象児のみならず、クラス全体の他児への関わり方や集団生活における課題についても、園や学校のニーズに合わせて柔軟に助言を行えるように努める。園や学校側の質問や困りごとに対し、一人ひとりの特性に合わせたオーダーメイドの提案を丁寧に行うことで、職員の皆様の専門性向上と安心感に繋がられるように努める。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月18日				
事業所名		ぼらりすあんど				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 整 備 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5		教具・教材を必要としない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		職員の配置が適切になるように日々調整管理を行っている。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		日々行う連絡会議やカンファレンス等で確認し、職員間で共有している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向けアンケートを実施。結果を保護者へ返し、業務内容の改善に向けて職員間で検討している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々行う連絡会議やカンファレンス、年1回の職員への聞き取り等で確認し、職員会議の議題にして検討している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		運営については、第三者に意見を求めて業務改善につなげているが、外部評価という形をとっていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部研修の機会を確保している。外部研修やカンファレンスにも積極的に参加している。出席できない非常勤職員にも内容を伝達したり、個別に研修を行ったりしている。また、多職種によるそれぞれの分析を元に話し合いを行っている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		活動における様子や保護者様からの聞き取り、発達検査の結果を反映して計画を立てている。職員会議でそれぞれの専門職からの意見、情報交換を行っている。また、保護者面接の時に子どもの家庭や園(学校)での様子を聞いて、計画に反映するようにしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員会議で、子どもについての情報交換を行った上で、それぞれの専門職からの意見をもとに検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		訪問ごとに訪問先の担任等と意見を交換している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画に沿った利用ごとの目標を設定し、職員会議を通して共有した上で話し合う機会を設けている。また、その提供記録やカンファレンスを通して、達成目標の評価を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		契約時にアセスメントシートを用い、保護者様より情報を得ている。また、日々の保護者様との面接や訪問先の担任等との話し合いにおいて、確認している。また、対象児のクラス単位でもアセスメントし、その中で、現実に対応ができることを提案できるようにしている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインの示す支援内容と保護者面接及び、訪問先の担任等との話し合い、利用者様の行動分析や特性ををもとに、利用者様に必要な支援目標を設定して、支援計画を具体的に説明するようにしている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画に沿った利用ごとの目標を設定し、職員会議を通して共有している。また、その観察記録やカンファレンスを通して、達成目標の評価を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		課題や目標について共有し、観察場面や訪問先の担任等と意見交換することを話し合い、共通認識を持つようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	職員間や責任者と観察内容、指導内容等を話し合い、共有して次回の活動に繋げるようにしている。適時、職員会議で検討したり、カンファレンスを行ったりしている。	職員間の振り返りまでにタイムラグがないように勤務を調整し、迅速に共有する機会を設定するようにする。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		事前に訪問先の理念や方針等を把握した上で、尊重しながら支援について提案するようにしている。	可能な限りの情報(ホームページなど)を把握した上で訪問する様にする。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5		毎回、観察記録と意見交換の記録を取り、支援の検証・改善につなげる。	長期的な視点も取り入れるため、定期的に振り返りを行うようにする。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		保護者様や訪問先担任等から対象児の状態や必要な支援について情報を得て、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		要請がある時には児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の病院（医師）と嘱託医契約等、医療連携を行っている。また、児童発達センター、地域の障害福祉課、子ども家庭支援課と連携しながら、適宜情報を共有している。小学校、中学校とも連携し、進学先においても支援が途切れないようにしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者の希望により、引き継ぎ支援会議に参加している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	2	質の向上のため、外部研修に参加している。	外部研修開催の情報を得られるように各職員もチェックするようにする。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5		日時を極力合わせて児童発達支援管理責任者や支援員が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		定期的に保護者面接を行っている。その際に訪問先や家庭の様子、子どもの発達状況や課題を共有している。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ペアレント・トレーニングや研修会としての場は設けていないが、定期的な保護者面接の中で、家庭での子どもへの関わり方や環境設定の方法、子どもへの伝え方等を提案したり、その後の振り返りを行う中で別方法の提案等を行っている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定等については、契約時に説明をしている。支援の内容や利用者負担等については、基本的には面接ごとに知らせている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		訪問開始の際や年度変わりの際等に説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的に保護者面接を行っており、その際に家庭や訪問先の様子、子どもの発達状況や課題・意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		その都度、説明や確認を行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に保護者面接を行っている。保護者から相談がある際には、その都度、面接や電話で対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	家族間の関係性もあるため（それぞれの家族によって認識も違うため）、開催、実施は行っていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		その都度、迅速に対応している。保護者には、契約時に説明し、対応には児童発達支援管理責任者が担うことを周知している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		必要に応じて、保護者向けのお知らせを掲示したり、公式LINEアカウントで配信したりする等、連絡事項の周知を図っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		記録類は施錠できるロッカーに保管している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様に子どもの行動の意味を伝えたり、子どもの発達状況を確認したりしながら、子どもの理解に繋がるように保護者面接を行っている。また、保護者に合わせて、伝え方や知らせ方について工夫をする様にしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		様々な相談等に応じている。	訪問の際に話された内容を対象児のみに限定せず、可能な限り助言できるようにする。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		各マニュアルを策定し、周知している。様々な状況を想定しながら訓練を行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		書面にした上で、口頭で説明し文書を保護者と訪問先に手渡しで渡している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時にアセスメントシートを用い、家族より情報を得ている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		訪問先への定期的な訪問に加え、必要に応じて電話、メール等のやり取りを行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		その都度、気になることは口頭、会議で共有し、事例集を作成している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員には研修を行い周知している。保護者様には契約時に周知している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時に説明している。	